

青梅市の公の施設指定管理者評価シート 令和 元 年度実施分

施設名	新町こどもクラブ学童保育所		
指定管理者名	株式会社モアスマイルプロジェクト		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	子育て推進課
設置目的	小学校に在席する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられないものの健全な育成を図るため		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	事業報告書・月次報告書	S	施設の設置目的に沿った運営ができた。清掃については徹底的に見直し衛生を改善できた。人員も事業内で補うことができ、適正配置に努めた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導についても定められた人員配置が行われている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	月次報告書	A	毎月・四半期ごとに業務の報告を行った。	A	定められた期限内に報告されている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書・現地調査・ヒアリング	A	点検業務も含み、環境整備を行った。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査・ヒアリング	S	システムの導入を行い、情報の適正な執行に努めた。	S	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。また、独自のシステム導入を行い、情報の適正な管理に努めた。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	現地調査・ヒアリング	S	システムの導入により、記録等が適性に実施した。	A	業務記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	現地調査・ヒアリング	A	災害発生時のマニュアル等を整備し、連絡体制を確認している。	A	災害発生時のマニュアル等を整備し、関係機関との連絡体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	現地調査・ヒアリング	B	避難訓練等が年画計画通りにいなかった。	B	緊急時に備え、訓練等を実施しているが、一部計画通りでない部分があった。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	事業報告書・現地調査	A	適切に実施している。	A	建物や施設の管理を行い、必要な修繕等の対応を行っている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書・現地調査・ヒアリング	A	子どもたちが主体となって行えるように取り組んだ。	A	事業計画に基づき、適切に事業が実施されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用児童の保育の状況は適切であるか など	事業報告書・現地調査・ヒアリング	A	事業計画どおりに児童がクラブを利用し、適切な保育を実施した。	A	事業計画に沿って適切に利用児童の保育が実施されている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート・ヒアリング	A	アンケートを実施した。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		利用者の満足度が得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート・現地調査・ヒアリング	B	事業者の変更による、保育方針の違いにより、一部の保護者に不安を与えてしまった。しかし、現在は弊社の保育方針に理解を頂いている。	B	利用者アンケートを実施し、一定の満足度が得られている。一方、一部に課題があった。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート・現地調査・ヒアリング	A	アンケート内容を踏まえ、改善対応に努めた。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	事業報告書・現地調査	A	子どもたちの安全・安心な居場所としての機能を果たした。市と情報共有を欠かさずに児童に寄り添った支援と対応ができた。	A	市と連携し、児童・保護者へ安全・安心を提供した。学校等の関係機関と情報共有を行い、適切に連携を図っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書・現地調査・ヒアリング	B	提案した主体的保育について、徐々に周知ができてきた。	A	提案内容を事業や保育内容に取り入れて実施している。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	事業報告書・現地調査	A	適正に整備し、管理している。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	事業報告書・現地調査	A	適性に管理している。	A	適切に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	事業報告書	A	赤字決算に陥っていない	A	法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	決算書	A	経常利益はプラスである	A	事業活動による収入が支出を上回っている。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	決算書	B	保育所新設に係る設備投資、借入の発生のため今年比率は30%以下となったが、経営に問題はない。	B	学童保育以外の事業による借入があるが、法人として適切に運営されている。
	流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	決算書	B	保育所新設に係る設備投資、借入の発生のため比率は100%以下となっているが経営(キャッシュフロー)に問題はない。	B	法人として適切に運営されている。	

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入を行い、児童の管理を安全にデータ化することにより、保育の質の向上ができた。</li> <li>・学童保育所とは「子どもたちの放課後の大切な生活の時間」という大前提のもとに、どうすれば子どもが主体的に保育できるのか、保育環境整備や職員の意識、保護者の方の理解を考えながら保育の改善を行った。</li> <li>・子どもたちの安全、保育所の衛生面をマニュアル化し、全職員に周知した。</li> <li>・保護者会の実施等保護者の方との保育感の共有、つながり等を大切にし、信頼関係づくりに努めた。</li> <li>・園内研修、会議は全職員対象に行い、保育の質の向上に努めた。</li> <li>・配慮が必要な子に対し、事業所として指針を示し、同じ方向性で支援が出来るように努めた。</li> </ul>
S	3	
A	13	
B	5	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定や事業計画に沿って事業の実施や管理運営を行った。特に、「子どもたちの放課後の大切な生活の時間」という前提のもとに、子どもが主体的に行動できるようサポートし、職員の意識の向上を図りつつ保護者の理解を考えながら事業展開を行った。</li> <li>・指定管理業務初年度ということもあり、事業を進めるうえで発生する課題については、すべての支援員の保育の質の向上に努め、引き続きより良い学童保育の運営に努めていただきたい。</li> <li>・特別な支援を必要とする児童について、どのように保育を行えばより良い時間を過ごしてもらえるか児童に寄り添った支援を行った。</li> <li>・各種季節に応じた行事の実施や制作作業など、児童が楽しめるような事業の実施に取り組んだ。</li> <li>・学校やタヤけランドと定期的に情報共有を行うなど、関係機関との連携した学童保育所の運営を実施した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策として、児童の体調管理や施設内定期的な換気や消毒の実施など、衛生管理を実施した。</li> </ul>
S	2	
A	15	
B	4	
C	0	